

閉会挨拶

本会副会長 庭野正和

議論がいよいよ佳境に入ってきたところではありますが、終了の時刻となってしまいました。閉会のご挨拶をさせていただきます副会長の庭野正和でございます。

口頭発表をしていただきました、武蔵野大学附属幼稚園の先生方、太宰府西小学校及び箕面自由学園小学校の両先生、そして大阪府立農芸高等学校の生徒の皆さん、さらに、シンポジストとして、文部科学省の齋藤先生、帝京科学大学の並木先生、大手前大学の中島先生、以上の先生方には貴重な体験や経験に基づく報告や提案をしていただきました上に、質問へのご回答もしていただきありがとうございました。また、3時間30分に渡りましたこの研究大会を最後まで視聴していただくと共に、質問や意見を寄せていただきました約100名の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年の研究大会は、3年ぶりに会場に集まり、発表者と参加者が相互にやりとりする対面形式で実施できると期待されておりましたが、オミクロン株の蔓延によりやむを得ずオンラインでの開催となりました。しかし、オンラインの良さは、どんなに遠くにいらしても、また、時間的にある程度制限される場合でも、設定された時刻に比較的容易に集まれるところにあります。

本日は、大会主題を、「学校飼育動物への関心を高め、理解を深めるために～変わりゆく学校での飼育活動～」として進めました。ご参加された皆さんの動物飼育に関する疑問や問題の解決につなげることができまし

たでしょうか。様々なお考えや実践研究、世の中の動きなどを総合的に捉えて、私たち研究会として学校での動物飼育の在り方などについて、まとめや提言を出さなければならぬと考えております。時間内に意見や質問を、チャットに載せることができなかった方も多数いらっしゃったのではないかと思います。アンケートフォームをホームページに出しておりますので、今すぐに開いて書き込み、送信していただきますようお願い申し上げます。また、会員登録をしていらっしゃらない方も多いのではないかと思います。是非、この機会に会員登録をお願いいたします。入会方法については、本研究会のホームページをご覧くださいと思います。

来年度の研究大会も9月に予定をしております。口頭発表やパネル発表で、皆様方の実践を発表いただけますようお待ちしております。

なお、この研究大会の様子を、9月6日から16日まで配信いたしますので、聞き逃しやもう一度聴きたいということがありましたら是非ご視聴ください。また、本日は所用があり参加できなかったという方にもご覧いただくことができますので、お勧めくださいますようお願いいたします。

さて、コロナ禍のために総会が実施できません。これに代わるものとして運営委員会を開催いたしますので、ご了承いただきたいと存じます。

以上をもちまして、第24回学校飼育動物研究大会を終了いたします。